

## 令和3年度地域づくり協議会通常総会を開催

5月6日（木）仏生寺公民館において、通常総会を開催しました。例年は代議員48名が参集して開催しておりましたが、コロナ禍、昨年同様来賓の招待無し、役員のみ出席の総会としました。

主な承認された主な事業は次のとおりです。

### ○おらっちゃ創生支援事業

- ・地区防災計画の見直し及び防災備品整備等

### ○コミュニティ助成事業（宝くじ地域防災助成事業）

- ・十三中学校に防災倉庫を設置
- ・ワンタッチテント及びワンタッチトイレ10セット
- ・キャンプマット140枚（就寝用マット）
- ・室内テント（天井無し3～4人用）
- ・車いす3台

### ○持続可能な地域づくり支援事業

- ・斎藤弥九郎没後150年記念事業として、斎藤弥九郎を学ぶバスツアーを7月と10月に開催

- ・旧仏生寺小学校正面の庭園整備及びグラウンド防球ネットの廃棄処分

### ○カローリング大会の開催について

- ・第7回カローリング大会を7月に予定しておりましたが、コロナ禍、11月に延期することになりました。

### ○規約の改正

- ・会長は理事の中から選任することになっておりますが、次年度から自治振興委員長を持って充てる。副会長は、公民館長及び民生委員児童委員協議会会長をもって充てる。（現在の役員の任期は令和4年度総会までとする）



▲通常総会の様子

## スポーツ交流委員会を設立

- ・4月24日（土）、スポーツ交流委員会を設立しました。会長に橋本清春さん（吉池）、副会長に小谷超さん（上中）を選出しました。この委員会はスポーツを通じて、仏生寺地区の住民交流と地域の活性化を推進することを目的としています。仏生寺地区の団体が主催するスポーツ事業（カローリング大会、ペタンク大会等）を支援することにしていきます。8月2・4・6日夜間ペタンク大会を開催します。



## 福祉事業研修会を開催

3月22日（月）仏生寺公民館クラブハウスにおいて、自治振興委員、民生委員、ハトムギワゴンサポーター等40名が参加して、毎年恒例の福祉事業研修会を開催しました。市社会福祉協議会職員の指導・助言を受けながら次のような研修を実施しました。



▲研修会の様子

1. 集落毎にテーブルに集まり、いのちのバトン兼安否確認・避難支援登録シートの変更事項の整理（転入・転出・出生・死亡等）
2. 福祉マップの変更事項の整理（支援をする人、支援を必要とする人）
3. 令和3年度のハトムギワゴンの運行について。例年どおり4月から12月まで、毎月2回運行（Aルート第1木曜、Bルート第2木曜）

## 地区防災計画の見直し・いのちのバトン更新実行委員会を開催

先日、災害時の避難情報の法改正がありました。また、新型コロナウイルスの蔓延もあり、地区防災計画の見直しが必要となりました。いのちのバトン兼安否確認・避難支援登録シートを作成してから6年が経ち、登録内容に変更が多くみられることから、全戸一斉に登録シートを更新することにしました。この2つの作業を実施するため、実行委員会を立ち上げ、7月19日に第1回実行委員会を開催します。メンバーは、地域づくり、自主防災会、氷見市、氷見市社会福祉協議会で構成します。



## 斎藤弥九郎を学ぶバスツアー

7月7日（水）、仏生寺の住民26人が参加して、1回目の仏生寺の先賢「斎藤弥九郎を学ぶバスツアー」を開催しました。本年が斎藤弥九郎の没後150年あたることから、市内3か所（朝日山公園、十三中学校、脇之谷内集落総合センター）の銅像を見てまわりました。また、仏生寺公民館で、市教育委員会の小谷超教育総務課課長補佐から弥九郎の生涯や功績、交流のあった歴史上の人物について解説を聞きました。2回目は、10月24日（日）弥九郎150回目の命日に、市の特別展に合わせて開催する予定です。



▲仏生寺公民館で受講



▲脇之谷内銅像前



▲朝日山公園銅像前